

令和7年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	④	学校名	奈良東養護学校
----	---	-----	---------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	(1) 日本文化（茶道）を体験しよう (2) 地域に開かれた教育活動
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	(1) 高等部の教科である合科（社会）において、日本の伝統文化である茶道を経験し、「もてなし」や「作法」を学習する。我が国や郷土の伝統や文化に触れ、それを継承・発展させることを目的とする。 (2) 高等部におけるしごと（家政・流通サービス、農業・工業、軽作業、農園芸等）の授業で、実践的・体験的な経験を増やす。
連携・協働相手	(1) (2) 奈良東応援団
地域と共有している目標・課題等	(1) (2) 地域との連携・協働の機会の増加、本校教育活動について理解啓発を目指して、「できることを・できる時・できる範囲で・できる人と」というキャッチフレーズとして掲げて協働活動に取り組むこと。応援団の高齢化に伴い、団員の確保が今後の課題となる。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	(1) 高等部の合科（社会）の授業において、奈良東応援団の協力を得て日本文化（茶道）を行った。普段では経験できない日本文化に触れることによって、日本の良さを知ることができただけでなく、地域の人（奈良東応援団）との関わりの中で褒めてもらったり関わってもらったりする心地良さを体験することができた。難しい作法についても、進んで学ぶことができた。 (2) 地域（奈良東応援団）の方たちの得意分野を生かし教育活動に参加してもらったり、普段の学習活動のなかで寄り添ってもらったりすることで、学習活動で頑張ろう、努力してみようとする生徒の姿が見られた。

2. 事業の成果と課題

<p>奈良東応援団の活動が教職員や生徒の中にも浸透してきており、もっと自由に校内で活動してもらってはどうかという意見も聞かれるようになった。奈良東応援団の方がいるのが当たり前という雰囲気を今後作っていきたいと思っている。</p> <p>(1) 日本文化（茶道）を体験しよう</p> <p>生徒が日頃経験することが難しい、我が国の伝統文化である茶道を、地域の方から教えていただいた。「もてなし」や「作法」など難しい内容もあったが、どの生徒も真剣に聞き学習に取り組むことができた。さらに、日本文化の学習を広げ、奈良商工高等学校和太鼓部との交流も実施することができ、来年度以降、このテーマを元に、様々な日本文化を体験することを計画したい。</p> <p>(2) 地域に開かれた教育活動</p> <p>普段の教育活動だけでなく、学校行事（文化祭の応援、健康マラソンの応援、作品展見</p>
--

学等)にも参加していただき、年間を通じて地域の方が学校にいたることが当たりまえの環境へと近づくことができた。教師の中にも当たり前の意識が根付きつつあり、どんな授業でも、一緒に活動することができたことが良かった。

